

日本罐詰株式会社の株式取得（子会社化）について

（2026年10月6日開示「日本罐詰株式会社の株式取得（子会社化）に関するお知らせ」補足資料）

2026年10月13日

株式会社ヨシムラ・フード・ホールディングス

当社の方針と本件の位置づけ

農業・漁業の生産現場とのつながりを強め、川上から川下までをつなぐ付加価値の高い商品づくりへ

今後の方針

1

付加価値の高い商品づくり

食品の製造・販売事業で、より付加価値の高い商品に注力

2

生産現場とのつながり強化

農水産物の生産者・漁業関係者との連携を深める

3

一次産業に近い分野へ拡大

農業・漁業の生産現場に近い事業領域へ積極的に事業を広げる

重点地域：北海道 — 世界が認める食のブランドと豊かな資源

世界が認める「北海道」ブランド

「北海道」の名前そのものが食のブランドとして国内外で高く評価

温暖化で広がる農業の可能性

米の生産拡大やワイン用ぶどうの品質向上で、農産物の価値が向上

世界に誇る水産物の産地

ホタテ・サケ・カニなど。ホタテは日本を代表する輸出食品

川上から川下までをつなぐ — 当社グループのバリューチェーン

生産（川上）

加工

販売

お客様（川下）

本件

日本罐詰

十勝の契約農家と農産物を生産し、冷凍野菜・パウチ食品に加工

既存

はこだてわいん：自社農園でぶどうを栽培し、ワインを醸造

グループの販路

生協・小売・業務用
海外まで幅広く展開

消費者や、

消費者に近い取引先へ
“直接”届ける

会社概要

1948年設立。十勝の産地に根差し、70年以上にわたり農産物の加工を手掛ける食品メーカー

会社名	日本罐詰株式会社
設 立	1948年12月29日
本 社	北海道河西郡芽室町西9条九丁目1番地
代表者	代表取締役社長 恒川 正英
資本金	314百万円（2026年3月期）
株 主	株式会社明治 92.9%、株式会社明治ナイスデイ 7.1%
事業内容	冷凍野菜、レトルトパウチ食品の製造・販売
認 証	FSSC 22000（食品安全）、ISO 14001（環境）

特 徴

■ 十勝の契約農家から農産物を直接仕入れるネットワーク

沿 革

■ 1950年 十勝で事業開始／1953年 明治グループへ

生産拠点

■ 十勝工場・芽室工場（芽室町内に近接）

立 地

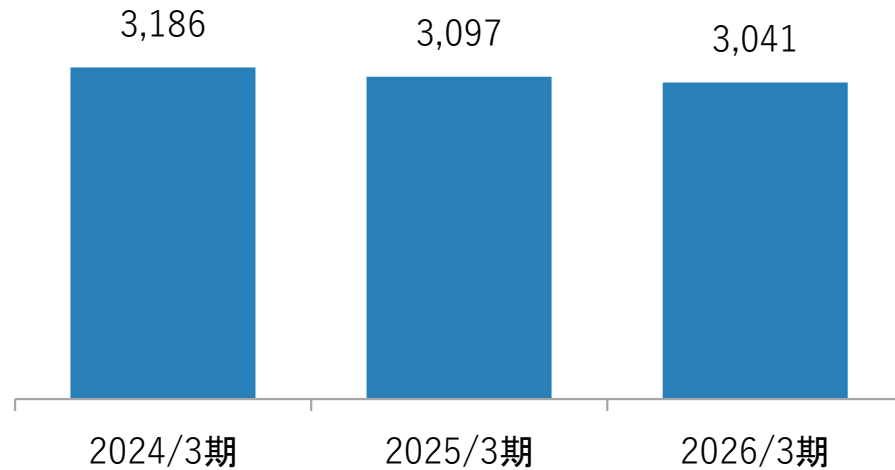
■ 温暖化が進む中、農業の適地として期待が高まる北海道



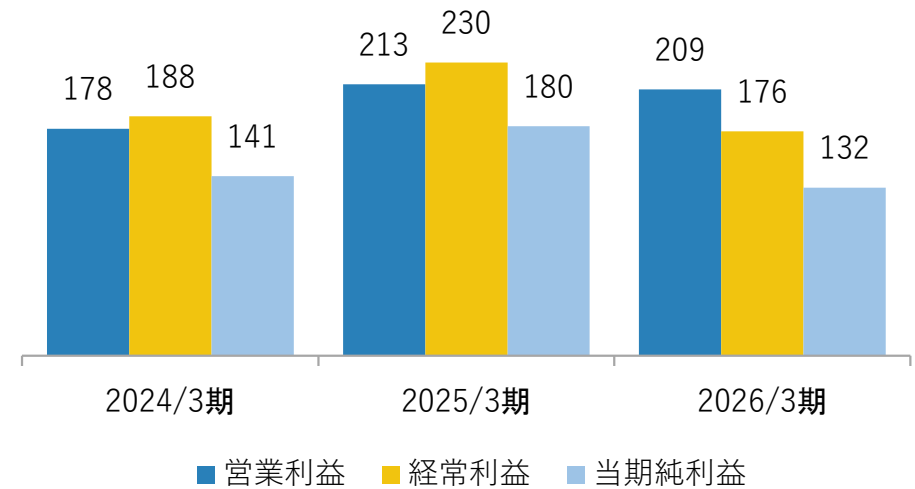
業績概要

売上高・利益ともに安定して推移しており、債務超過は株式取得前に解消予定

売上高（百万円）



利益（百万円）



（百万円）	2024/3期	2025/3期	2026/3期
売上高	3,186	3,097	3,041
営業利益	178	213	209
総資産	3,273	3,342	3,481
純資産	△3,674	△3,479	△3,237

債務超過の経緯

- 2016年の台風で十勝工場が被災し、復旧・リニューアルで大規模な設備投資
- 2020・2021年3月期に減損損失を計上し、債務超過に

債務超過の解消

株式取得前に、明治を割当先とする第三者割当増資で解消予定

取扱商品・販売先

十勝産の野菜を冷凍野菜・レトルトパウチに加工。主に大手食品メーカー・大手小売企業のPB商品を受託

主な冷凍野菜製品（十勝産を中心とした北海道産）



コーン



かぼちゃ



ブロッコリー



グリーンピース



いんげん



枝豆



ミックス野菜

事業構成（売上構成比）

冷凍野菜

約6割

コーン、かぼちゃ、ブロッコリー、枝豆等

レトルトパウチ

約3割

ホールコーン、コーンスープ、大豆等

原料販売

約1割

じゃがいも等の農産物

主な販売先

- 大手食品メーカーのPB商品
- 大手小売のPB商品
- 農協・生協
- 食品卸・業務用



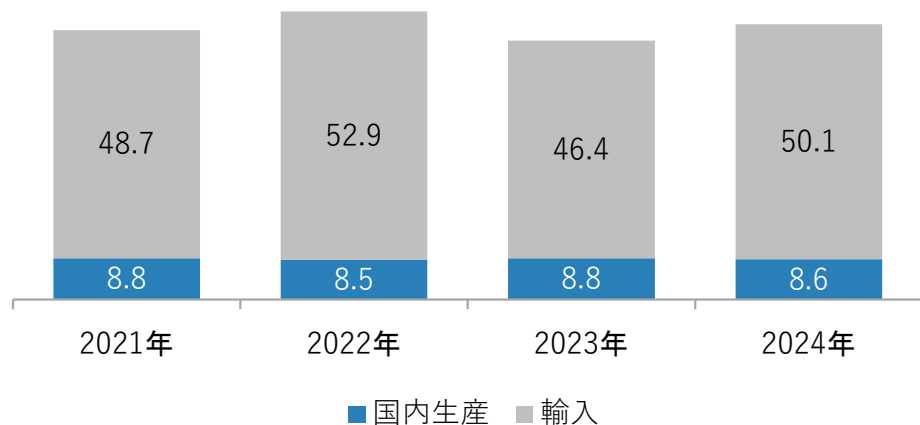
「北海道産」「十勝産」を特長に長年受託製造

市場シェア・十勝ブランド

国産冷凍コーンはトップクラスのシェア。主力商品は十勝ブランド登録で最高評価の★5を獲得

国産冷凍コーン市場

国内の冷凍コーン市場（国内生産＋輸入、千t）



国産比率は約15%（2024年）。市場は約6万tで横ばい、その大半を輸入品が占める

- 国内流通の約80%が輸入品で、国産品の供給は限定的
- 輸入品より高い価格帯でも選ばれる商品力

十勝ブランド

「北海道十勝産冷凍ホールコーン ゴールドラッシュ」が、とかち財団の十勝ブランド登録で最高評価の★5を獲得



- 十勝産コーン100%使用
- 栽培履歴によるトレーサビリティ

出所：日本冷凍食品協会、財務省貿易統計、日本罐詰提供資料をもとに当社作成

日本罐詰の強みとポテンシャル

十勝地方の農家との長年の信頼関係が生む「直接仕入れネットワーク」



十勝は日本有数の「食の宝庫」

- 耕地面積 25.5万ha（道内22%）
- 農業産出額 3,080億円（同24%）
- 国内屈指の大規模畑作地帯

強 み

■ 十勝の農家との長年の信頼関係

1974年発足の協議会を通じ、契約農家と栽培計画などを毎年協議

■ 農家から直接仕入れるネットワーク

十勝の契約農家から直接仕入れ、種の手配から栽培・収穫・加工まで一貫管理

■ 明治グループで培った管理体制

生産・品質管理のノウハウと食品安全認証（FSSC 22000）

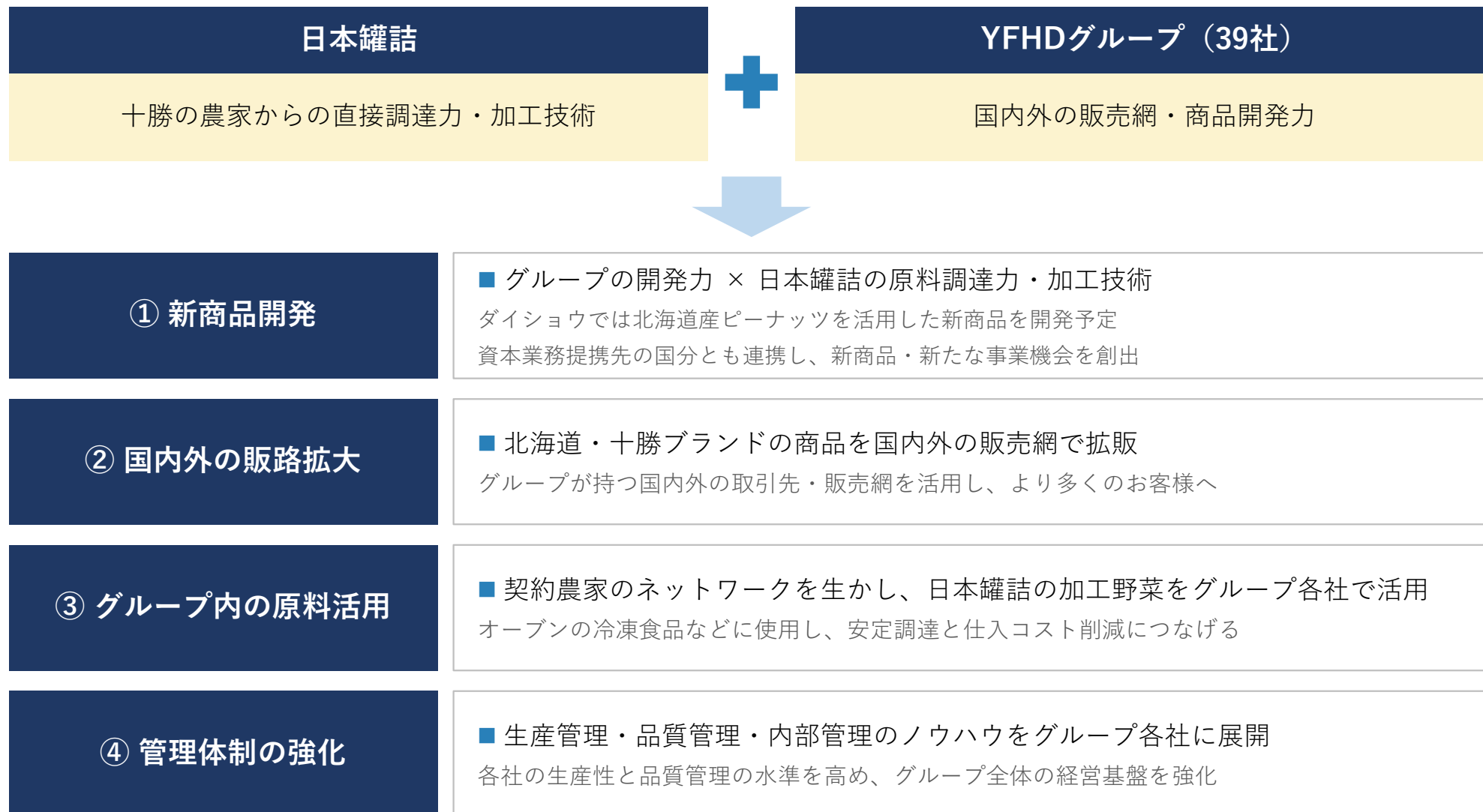
成長ポテンシャル

- 高齢化や共働き世帯の増加を背景に、冷凍野菜の需要が拡大
- 輸入品から国産品への置き換えを視野に、国内販路を拡大
- 北海道・十勝ブランドと食品安全認証を生かし、輸出を拡大

出所：農林水産省 北海道農政事務所 帯広地域拠点「十勝地域の概要」（耕地面積は2023年、農業産出額は2022年）、同 北海道農政事務所「道内港からの農畜産物等の輸出」

株式取得の目的とシナジー

日本罐詰の調達・加工技術とグループ39社の開発力・販路を組み合わせ、収益力を向上



北海道を重点地域とし、十勝の農業と地域経済の発展にも貢献

まとめ

北海道・十勝で調達・加工・販売の基盤を強化し、グループの収益力と企業価値を高める

十勝の農家との信頼関係

- 十勝の契約農家と長年かけて築いた信頼関係により、食の宝庫・十勝の農産物を産地から直接仕入れるネットワークを持つ

国産冷凍コーントップシェア

- 国内流通の約80%を輸入品が占め、国産のプレイヤーが限られる市場でトップクラスのシェア
- 十勝ブランド★5の評価を背景に、プレミアム商品も開発

グループで業績を伸ばす

- 十勝産素材を活用した新商品開発と国内外での販売拡大
- 産地の調達ネットワークを活用し、各社の安定調達とコスト改善を図る

管理体制の強化

- 明治の子会社として培った生産管理・品質管理・内部管理のノウハウをグループ各社に展開し、グループ全体の管理体制を強化する

当社は地方の食品企業をM&Aで迎え、雇用と地域に根差した事業を守りながら成長を支援します。

日本罐詰の強みに当社の販売網・商品開発力・経営支援機能を掛け合わせ、グループ全体の持続的な成長と企業価値向上につなげます。

日 程	
株式譲渡契約締結日	2026年10月6日
株式譲渡実行日	2026年11月1日（予定）